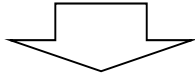


学校ゼロエネルギー化に向けて

～学校ゼロエネルギー化推進方策検討委員会報告(概要)～(平成24年5月)

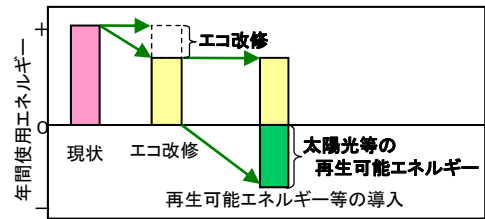
学校施設は・・・

- ・地域の身近な公共施設
(児童生徒等への環境教育、災害時の防災拠点)
- ・他の用途と比べ年間の一次エネルギー消費量が小さい傾向



良好な教育環境の確保を図りつつ
ゼロエネルギー化への取り組みを
積極的に行う意義のある建築物の一つ

本報告書におけるゼロエネルギー化は、エネルギー消費量を減らす「省エネ」と、太陽光発電等を利用した「創エネ」等の技術を組み合わせて、年間のエネルギー消費を実質上ゼロとする考え方。

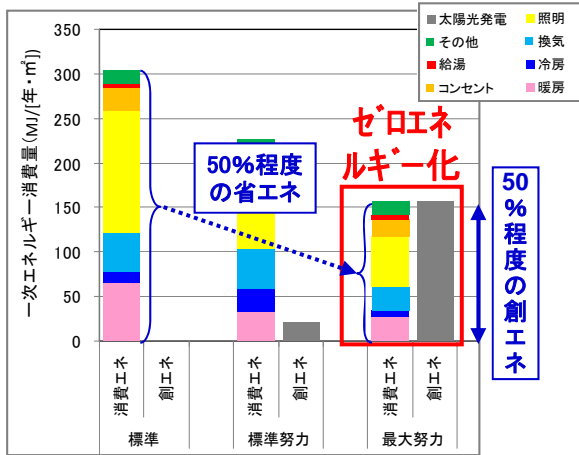


ゼロエネルギー化の実現可能性(シミュレーション結果)

徹底的な省エネルギー(▲50%)に加え、大規模な太陽光発電等の創エネルギー(+50%)を行う最大努力対策の場合、ゼロエネルギー化は実現可能

最大努力対策の例

- 《省エネ》高断熱化、高効率空調の導入、ライトシェルフ(ひさしと開口部を用いた昼光利用)の導入等
- 《創エネ》太陽光発電設備(約150kW)



※東京地域・RC造9,000㎡の場合の試算

